

【教育委員会議事録】平成27年12月定例会

開催日時	平成27年12月21日(月) 10:00～:11:00
開催場所	下関市上田中町庁舎 1階会議室
出席委員の氏名	波佐間 清(教育長) 吉井 克也(教育長職務代理者) 野口 裕子 藤井 悦子 林 俊作
欠席委員の氏名	欠席なし
委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名	<p> 教育部長 石津 幸紀生 教育部理事 肥塚 敬文 教育部理事 山路 康正 教育政策課長 三好 洋一 学校教育課長 森永 亮 教育指導監(教育研修室長) 澄川 忠男 学校支援課長 石田 朋彦 学校安全課長補佐 木村 昭弘 教育指導監(生徒指導推進室長) 岡崎 茂邦 生涯学習課長補佐 永田 聡 文化財保護課長 町田 一仁 図書館政策課長 高原 祐二 美術館副館長 中村 美幸 土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム館長 西村 敬教 下関商業高等学校事務長 和田 守正 菊川教育支所長 林 文男 豊田教育支所長 山尾 淳子 豊浦教育支所長 戸田 一仁 豊北教育支所長 西島 一明 こども育成課長 川口 和子 教育政策課主幹 光吉 計志 教育政策課主査 岡本 誠也 教育政策課主任 殖木 章充 </p>
傍聴人の数	1人

次第（目次）

【開会の宣告】	P 3
【署名委員の指名】	P 3
【教育長報告】	P 3
【議案審議】	
議案第78号 平成27年度下関市立学校教材審査会委員の委嘱について	P 7
議案第79号 平成28年度下関市立幼稚園・小学校・中学校教職員人事異動方針 について	P 9
【報告事項】	
下関市立殿居小学校の閉校記念式典について	P 10
平成27年度工事請負変更契約の締結について	P 11
下関市社会教育振興大会の開催について	P 12
下関市青少年補導委員の解嘱及び委嘱について	P 12
重要文化財旧下関英国領事館の開館時間の変更について	P 13
平成28年度公民館等の臨時休館等について	P 14
【その他】	P 15
【閉会の宣告】	P 16

【開会の宣告】

波佐間清（教育長）

それでは12月の教育委員会定例会を開催いたします。

【署名委員の指名】

波佐間清（教育長）

本日の議事録の署名は、「野口委員」「藤井委員」をお願いいたします。

最初に少し挨拶をします。今年も年の瀬を迎えまして、皆さん方におかれましては本当にご多用の日々をお送りだったと思います。一応無事に12月までやってこれたこと、大変私も有り難く思っております。こういう中で、今年大きな事件・事故等はなかった。小さいことは少しずつはあったわけですが、大きな事件・事故がなかったことは大変有り難く思っているところであります。間もなくクリスマスイブ、そしてクリスマスと、また年末年始、お正月を迎えるわけですが、皆さん方もどうぞ今年1年をしっかりと振り返って、また来年に向けての思いを馳せていただき、新年を迎えていただければと思っております。

今年を振り返ってみますと、大きな行事というか改革があった。これは、新しい教育委員会制度が発足をし、私も4月1日に新教育長として市長から教育長を拝命し、教育委員会制度の改革が実施されている。そういう中で、総合教育会議も2回市長とともに開催したところであります。我々教育委員会としては、これは大変大きな改革であり、一人ひとりの教育委員がまた自覚をし、そして、この改革を我々が一緒になってしっかりとした教育委員会を形成していくということが大切なことかなということを改めて感じたところであります。

もう1つ大きなイベントとしては世界スカウトジャンボリーが夏にあつて、下関に多くの外国の方々が訪問され、各学校、そして公民館、地域の方々によって歓迎のおもてなしが開催されました。

また、NHKの大河ドラマ「花燃ゆ」の関係も1年間過ごしてくる中で、縁あつて群馬県の前橋市にも皆さん方教育委員さん達と訪問させていただき、向こうで楫取素彦が蒔いた教育の種が開花している姿を視察することができました。迎賓館である臨江閣にも訪問をして、あそこの地を散策することができたのも大変良かったかなと感じているところであります。私の方のお話とすれば以上であります。また、協議の方よろしく願いいたします。

それでは、本日の日程は、日程1の「議案」が2件、大変少ないですが「報告事項」が追加2件と合わせて6件、日程3「その他」となっております。

【教育長報告】

波佐間清（教育長）

それでは、議案の審議に入る前に、教育長報告をいたします。

2ページを開けていただければと思います。今回の教育長報告は、先日の市議会12月議会の報告を中心にお話をさせていただきます。会期が12月3日から18日の金曜日までということで、議案がそこに書いてあります。議案第168号一般会計補正予算から始まって、193号、269号、270号、271号ということで、そこに議案の審議の審査をいただいたということでもあります。

それから協議につきましては、陳情20号要望書、学校保健に関する要望、21号環境整備事業に関する要望、特に統廃合されました学校内の維持管理等についてということでありました。陳情24号は、下関市内の私立の中・高等学校の補助金の充実についてという陳情書が出たということでもあります。

それから、報告につきましては、専決処分が大半であります。交通事故に伴う車両の損壊の保証、吉見小学校の除草作業に伴う車両の損害事故、それから山の田中学校の校舎耐震化外壁工事の契約変更。それから新博物館建築主体工事の変更のこと、それから新博物館の名称についてと、教育センターの呼称についてということ。それから教育支援教室が、文洋中学校の分教室が、

関西小学校へ来年度は移転をするということの報告であります。

次の3ページであります。一般質問が11日から17日までございました。主な一般質問の項目をそこに挙げているところであります。地方創生について安岡議員の方から、下関出身の官僚であります山崎氏の提案を、5歳児教育についてという提案について。それから、そこに不登校・ひきこもりの取組。恵良議員のフリースクール等について。それから15歳の学力と生活について。村中議員の方から小・中一貫教育についていかがかという質問でありました。それから、ここには書いてありませんが、片山議員の方から公民館のあり方、図書館の嘱託の方々の配置、雇用形態等についての質問がございました。それから、聞きなれない言葉かもわかりませんが、LGBTについて、特に性同一性障害を中心に酒本議員の方からこれの取り組みについての質問がございました。それから板谷議員の方から唐戸市場のドックのところの指定文化財について、日本遺産にしていってどうかというお話もありました。吉田議員、それから浦岡議員から選挙権の年齢が18歳に引き下がることについての教育委員会の指導体制はいかがかという質問がありました。選挙権・年齢等の18歳引き下げについてというのが吉田議員で、明年参議院選挙についてというのが浦岡議員で同じような質問でありました。それから山下議員の方から、雇用対策と労働教育について。労働教育という言葉は我々教育の方ではありませんけれど、ブラック企業やブラックバイト、それにきちんと対応できる知識を持っておくべきではないかということの教育のあり方ということでありました。また浦岡議員はもう1つ、文化・芸術の振興について。今、日本伝統文化のことが盛んに行われていますが、学校での取組はいかがか。大変協力をして地域の方々がやっておられるというお話もありました。それから、前東議員の方から防災対策について、小・中学校の防災教育の取り組みはどうかということでご質問がありました。それから松垣議員の方から学校や子育て支援施設の整備についてということで、今、学校の夏の前後7月から9月まで夏休みがありますけれど、子供たちの暑さ対策についてということで、クーラーを学校に設置すべきではないかという質問が9月にあったわけですが、それを根底におきながら、今教育委員会として子供たちの暑さ対策、回答としては扇風機を今後来年度から少しずつつけていこうというお話と、1つミストシャワーはいかかでしょうかという提案をいただきました。安価な施設でできるので、空気中に霧のようなものを発生して、するとそういう暑さ対策ができるのではないのでしょうかという提案をいただきました。それから、コンダクターの活用については江村議員の方から。これはコミュニティ・スクールの、今年から県の施策でコンダクターというのを1人配置をしておりますが、下関ぐらいの規模になると1人では足りない、2人必要ではないかということで、県の方にしっかり要望していきますというお話でありました。最後に子どもの貧困について香川議員から質問があったわけですが、スクールソーシャルワーカーの働きについてどうかということ。項目ではありませんけれど、北部図書館のあり方についてということも議員の方からありました。主なものを上げましたが、抜けたのが1、2あったかもわかりませんが、これまで一般質問の中で想定問答等も含めて大変多く議員さんから質問をいただいたところでもあります。こういうことが質問の中に挙げられておりますので、教育に対して非常な期待もあるし、また、施策について提言もあったところでもあります。以上が議会の報告であります。また、感想がありましたらまた後ほど述べていただければと思います。

それから、平成27年度はやまぐち地域連携教育研修会が下関会場でありました。これはコミュニティ・スクールに係る研修会でありました。県教委と市教委とで合同で、12月12日土曜日でありましたが、午後海峡メッセ下関の国際会議場でこれらのことを研修いたしました。最初に白岡コンダクターと平谷指導主事が下関のコミュニティ・スクールの取組を映像を交えて説明をいたしました。その後、「これからのコミュニティ・スクールに求められていること」として文部科学省コミュニティ・スクールマイスター、元文部科学省の方に派遣をしておられた名古屋の風岡治さんからご講演をいただいて、全国の取組のあり方と山口県の取組、そして下関の取組についての方向性についての講演があったところでもあります。我々も自信を持ってコミュニティ・スクールを進めていけるという確信を持ったところでもあります。

それから、つい先日であります。12月19日土曜日に、これは山口県の方で、文科省と山口県の方が主催をして、コミュニティ・スクールの学校づくりフォーラム山口会場、これが県のコミュニティ・スクールの推進フォーラムと兼ねてありました。防府市公会堂であったわけですが

が、これには県知事さんも来られて、午前中、山口県の取組と一緒に県知事さんも同席をされて聞かれました。休憩時間に、ロビーに各市の取組の大きなパネルが展示してあって、下関からも展示をしていました。知事さんが回ってこられまして、私が説明をいたしました。下関のコミュニティ・スクールの取組は非常に素晴らしいということで、特にコミュニティ・スクールの中での防災教育の一環で、吉見小・中学校の防災で700人が一緒に動いたという、その辺の取組が掲示の中にあっただのでそこを中心に話をし、まちづくり協議会とコミュニティ・スクールについてのお話もしたところでございます。貝ノ瀬委員さんが、東京から来られて、コーディネーターとして分科会、シンポジウムを取り仕切られました。そういう取組があったということで、大変充実した1日でありました。

以上、私の教育長報告を終わりますが、何かご質問がございましたらお願いをいたします。いかがでしょうか。はい、どうぞ。

吉井克也（教育長職務代理者）

議会での質問についてです。色々気になっていますが勉強しなくてはいけないこともたくさん私にもあるなと思いました。色々ありますが1つだけ。最後の子供の貧困について色々ご質問があったということでもありますけれども、下関の子供たちのどこまでがプアーというか貧困というのかなかなか難しいところではあります。例えば小学校の児童や中学校の生徒で、どのくらいの子供たちが貧困家庭の子供であると。もっと言うならば、3食を土曜日、日曜日はまともに食べられない日があるんだという状況の子供たちと言ってもいいのかもしれませんが、その辺の調査については、これは教育委員会だけではありませんが、その他の部署がやられることかともわかりませんが、何か数字としてはあるのでしょうか。

石津幸紀生（教育部長）

所管はこども未来部になると思いますが、こども未来部長の答弁は、下関市として独自に調査したものはございません。世間で言われている貧困率が何%、それをベースに下関の小・中学生の児童生徒数で掛け算をすると、およそこのくらい的人数が下関では貧困のエリアに入るのではないかと。そういう答弁でした。

吉井克也（教育長職務代理者）

大変数字で表すというのは難しいことだと思います。ここはこうなんですと見極めるというのは本当に難しいけれども、現実には日常生活の中でそういうことに苦しんでいる児童や生徒たちがいるとするならば、それはやはり教育の問題でもあるなと。その辺をしっかりと子供たちを見つめながら何ができるかということは難しいけれども、その子供の実情をまず知ることが、教育者としても、とても大事なことだと、そういう思いを今強く持ちました。

山路康正（教育部理事）

今、吉井委員さんが言われたとおりでございます。そういう子供たちがいる場合には、当然学校が教育委員会に報告いたしますし、児童相談所等とも連携いたします。スクールソーシャルワーカーを小学校12校、それから中学校12校の計24校に、これは昨年度の実績で派遣をしております。そういったスクールソーシャルワーカーもしっかり活用しながら個別の家庭にしっかりと支援をしていく必要があろうと思っております。また、就学援助につきましては、およそ30%を少し超えるくらいの子供が就学援助を受けている状況でございますので、支援が必要な家庭にはしっかりと支援をしていく必要があるだろうというふうに思っております。以上でございます。

吉井克也（教育長職務代理者）

わかりました。

波佐間清（教育長）

今のそういうお話を前提にしながら、奨学金の制度を、今、貸与型で貸すという状況ではなくて例えば下関について就職をしたら、もうその返納はなくてもいいのではないかという香川議員はそういう提案をされました。今の時点はこれを長くしていくために貸与型の給付を今教育委員会ではしているけれど、それを返してもらった基金でまた次の方に貸していくというのが、今教育がやっている制度であります。それを給付型にできないかという提案もございました。

林俊作（教育委員）

陳情の24、下関市内私立の中・高の補助金の充実について、これはどのような内容であったのか教えていただけますか。

森永亮（学校教育課長）

陳情そのものは、現状の補助金の額を必ず維持する。私立の生徒数も増加傾向にはあるという流れの中で、こちらの方の見直しは、財政健全化プロジェクトの補助金の見直しを受ける中で、生徒一人ずつのいくらというような生徒割と、学校の規模、全校生徒が何人だからという全体としてこういう額という2つの制度で補助金を指定しておくわけですけど、大きな見直しは運営費の補助金ではなく、いわゆる特色のある事業に対して補助をするという流れにおいて、現状からどんどん減るといことがないようにという陳情の中ですね、こちらの方としてはいわゆる生徒割と施設割、この基準額を基に算出する1/2を上限額ということで、現行と大きく減額になるものではないということで回答させていただきました。

林俊作（教育委員）

どういうところから陳情があったのですか。

波佐間清（教育長）

私学の4つの学校から、理事長・校長の名前で陳情ができています。

石津幸紀生（教育部長）

見直しの一番大きなものは、今、森永課長が言いましたように、運営費補助から事業費補助に大きく切り替えるということ。それと、かかった経費の1/2を上限としましょうということ。それが財政健全化プロジェクトの基本的な考え方です。今回の陳情の大きなポイントは、1/2ではなくて75%を助成してくださいとか、そういうのがやはり大きなご要望の1つかなと思います。下関市としてやはり補助金の支出にあたっては、原則1/2というところを75%までみてくださいというご要望ですけど、なかなかそこまでは難しいのかなというようなお話でした。

林俊作（教育委員）

朝鮮学校については今までどおりという流れですか。

石津幸紀生（教育部長）

はい。

波佐間清（教育長）

他にございませんか。

野口裕子（教育委員）

一般質問の中にLGBTについて、酒本議員がご質問になったということですが、私も録画を途中まで見て最後まで時間的に見ることができなかったのですが、これは具体的に教育委員会に対してどのようなご質問だったのか教えてもらえませんか。

波佐間清（教育長）

LGBTについての質問であったのですが、レズとかそういうものについて、しかし教育委員会としてはこの言葉は使っておりません。その中で特に性同一性障害。そのことについて子供たちに人権の意識を高めていく意味において、そういう偏見を持たないようにしようという教育をしておりますというお話をさせていただきました。

山路康正（教育部理事）

LGBTは学校現場では、性的マイノリティーという言葉を使いますので、LGBTという言葉そのものは使いません。性同一性障害については、山口県人権推進指針の16の課題のうちの1つとして取り上げられております。従いまして、こういうことについても子供たちの人権に配慮する必要があると。学校現場でどのような支援をしているのかという、これは性的マイノリティーの子供さんについては、特有の支援というのを文部科学省が通知でもう示しておりますので、それに従った対応をしておりますということと、しっかり人権教育等でこういったことについても指導しておりますということ。それから管理職、教職員の研修はどうなっているかということがありましたので、これにつきましてももうすでに通知がこちらからも出しております、実際に管理職研修、あるいは人権教育担当者研修の中で、性的マイノリティーに対するあるいは性同一性障害の子供に対する支援、それから他の人権教育をどのように進めるかということについても研修を行っていますという、そういう具体的な回答をさせていただきました。

野口裕子（教育委員）

安心いたしました。私の身近でもやはり心と身体が一致してないのかと思うような子供さんが時々おられますので、下関市全体にするとやはり数名はいらっしゃるのではないかなと思えました。やはり彼ら・彼女たちの人権ということに関しましては相談する窓口、あるいは大人の目から見て、この子供たちをどういうふうに支援していったらいいのかというようなことを、専門的な知識を交えて学校側も認識していただければなという思いがあります。この議員の質問の時にとってもこういうことが議会で行われるっていうことに対して、1つは喜ばしい気持ちで聞かせていただきました。よろしくをお願いします。

波佐間清（教育長）

よろしいでしょうか。それでは質問がないようですので、次に行きたいと思います。

【議案審議】

議案第78号 平成27年度下関市立学校教材審査会委員の委嘱について

波佐間清（教育長）

それでは、「日程1」の議案審議に入りたいと思います。「議案第78号 平成27年度下関市立学校教材審査会委員の委嘱について」、学校教育課、お願いいたします。

澄川忠男（教育指導監（教育研修室長））

学校教育課教育研修室でございます。よろしくお願いいいたします。資料の4ページをお願いいいたします。「議案第78号 平成27年度下関市立学校教材審査会委員の委嘱について」ご説明いたします。

本件はお手元の方に配布しております、資料1下関市立学校教材審査会規則第3条の規定に基づき、平成27年度下関市立学校教材審査会委員を委嘱するものです。教材審査会とは下関市立小・中学校及び下関商業高等学校で使用する平成28年度用準教科書の使用の適否を審査する会です。ここでいう準教科書とは、小学校の体育科や下関商業高等学校の中国語や茶道等で使用する教科用図書のことです。審査をする際の基準につきましては、お手元にお配りしております資料2下関市立学校教材審査基準をご覧ください。

委嘱する委員につきましては、5ページをご覧ください。5ページに名簿が掲載をしております。

す。新規のところには○印がしてある方々が平成28年1月1日から新たに委嘱しようとするものです。○印がない方につきましては、平成27年の1月1日から平成27年12月31日までの方と継続の方でございます。簡単にご説明いたしますが、上側から秋山委員につきましては、下関商業高等学校の中国語の教材を審査されます。それから白川委員は朝鮮語の教材でございます。それから川野委員は素描、美術の方です。藤井委員は華道、花でございます。それから濱崎委員が茶道。それぞれ専門の分野から審査をしていただきます。下側の教育関係者の部分につきましては、小学校の校長及び教頭また教諭の中から選んでおります。小学校の場合は主に体育の副教材を審査いたします。下関市立学校教材審査会の委員については、下関市附属機関設置条例において、その定員は12人以内とされております。また、下関市立学校教材審査会規則第3条において、教育関係者・学識経験者の中から教育委員会が委嘱するものとされています。こうした条例等の規定に基づき名簿のとおり、学識経験者5人、教育関係者7人の合計12人を委員として委嘱するものです。

なお、委員の任期としては、下関市立学校教材審査会規則第4条の規定に基づき、平成28年1月1日から1年間としております。説明は以上です。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

波佐間清（教育長）

今、議案の説明がございました。よろしいですか。それでは、ご質問・ご意見等がありましたらお願いをいたします。はい、どうぞ。

林俊作（教育委員）

下商の副読本について、下商の関係者の方が1人も入ってなくても大丈夫なのですか。

澄川忠男（教育研修室長）

下商の関係者につきましては例年入っていません。それぞれ専門の立場から外部からの意見ということで、下商の関係者は入れておりません。

林俊作（教育委員）

わかりました。

澄川忠男（教育研修室長）

ひとつよろしいですか。申し訳ございません。先ほど説明の中で一言間違えがありましたので、訂正をさせていただきます。準教科書の部分ですが、その説明の中で小学校体育科や下関商業高等学校の中国語や茶道等で使用する教科用図書と私申し上げましたが、大変申し訳ありません、副教材の間違えでございます。申し訳ございません。

波佐間清（教育長）

教科書ではないですね。他にご意見がございましたら。よろしいですか。

（ありません）

波佐間清（教育長）

それでは特にないようでしたら議案78号について、承認としてよろしいでしょうか。

（はい）

波佐間清（教育長）

異議なしということで、承認といたします。

【議案審議】

議案第79号 平成28年度下関市立幼稚園・小学校・中学校教職員人事異動方針について

波佐間清（教育長）

それでは、次の議案に入りたいと思います。次は「平成28年度下関市立幼稚園・小学校・中学校教職員人事異動方針について（案）」であります。これは学校教育課、お願いいたします。

森永亮（学校教育課長）

学校教育課でございます。よろしく申し上げます。それでは「議案第79号 平成28年度下関市立幼稚園・小学校・中学校教職員人事異動方針について」ご説明させていただきます。資料の7ページをお開きください。

山口県教育委員会の平成28年度人事異動方針を踏まえ、お示ししておりますような下関市の方針を定め、人事異動を行ってまいりたいと考えております。

大きく4項目について、昨年度からの変更点は、今年度新たに、教育理念を新たなものにいたしましたので、4項目のさらに上の冒頭の部分ですが、「夢への挑戦・生き抜く力・胸に誇りと志とともに学び ともに育み 未来を創る下関の教育」というふうにしております。その他、4項目の方に大きな変更点というのはございませんが、平成28年度は学校の組織力向上、これに重点を置いて、公募型人事異動の積極的な活用、増加する新規採用者の計画的な配置、あるいは特別支援教室の充実といったところに重点を置いた人事配置にも努めてまいりたいと考えているところであります。以上簡単でございますが、ご審議のほどよろしくお願いをいたします。

波佐間清（教育長）

平成28年度、来年度に向けての人事異動方針の案が示されたところであります。特に今説明がありましたように、新しい教育理念が「夢への挑戦・生き抜く力・胸に誇りと志」ということで新たに取入れられたところが、そこに組み込まれているということでもあります。何かご意見、ご質問がありましたらお願いいたします。

吉井克也（教育長職務代理者）

この方針については、これでいいと思っております。去年の人事を振り返ってみた時に、こういうケースがありました。悪いと言っているのではありません。ある学校の教頭先生がそのまま校長に承認されていったケースがありました。私はこれは素敵だと思いました。なぜかという教頭先生はその学校現場、あるいは地域をよく知っていらっしゃるわけで、必要があればその学校で昇進をされるということは、本当に色々な面を見た時に、教育の成果が出てくるだろうと思っております。そのような柔軟性は素晴らしいと思いつつ見えておりました。成果も実際上がっているようで、大変嬉しく思っています。そういう柔軟性を持った人事というのはとても大事ではないかと強く思いました。

それともう1つは、やはり女性管理職のことが色々なところで話題になっているわけですが、下関においてもさらに一層その辺を強力に進めていかななくてはいけないと、一言申しておきます。以上です。

山路康正（教育部理事）

今の同一校で教頭から校長への採用でございますが、去年、中学校で1校ございました。その前の年も小学校の方で1校そういうことを市内で行っております。これは、校長・教頭が同時に異動することを避けることもありますし、地域の状況をよく知った教頭がそのまま引き続いて学校経営に当たることができるというメリットもあろうというふうに思っております。その辺りは、県教委ともしっかりと相談しながら、お願いをしながら進めてまいりたいというふうに思っております。

吉井克也（教育長職務代理者）

ありがとうございました。

波佐間清（教育長）

他にご質問、がありましたら。よろしいでしょうか。

（はい）

波佐間清（教育長）

それでは、特にないようでしたら「議案第79号 平成28年下関市立幼稚園・小学校・中学校教職員人事異動方針について」は承認としてよろしいでしょうか。

（はい）

波佐間清（教育長）

それでは、承認といたします。

【報告事項】

下関市立殿居小学校の閉校記念式典について

波佐間清（教育長）

続きまして、報告事項に入ります。まず、「下関市立殿居小学校の閉校記念式典について」、教育政策課、お願いいたします。

三好洋一（教育政策課長）

教育政策課でございます。よろしくお願いいたします。それでは「下関市立殿居小学校の閉校記念式典について」ご報告いたします。資料は8ページをお願いいたします。

下関市立殿居小学校につきましては、下関市立豊田中小学校との統合のため、今年度末をもって閉校いたします。この閉校にあたりまして、閉校記念式典を次の日程で開催いたします。

日時でございますが、平成28年3月6日日曜日、午前10時からを予定しております。続きまして、会場であります。殿居小学校の屋内運動場、体育館を予定しております。式典の所要時間は40分程度で教育委員会式辞の後、市長挨拶、ご来賓の挨拶、そして校長及び児童代表挨拶のほか、閉校記念品の贈呈などを予定しております。

また、閉校の記念式典に引き続きまして、地元の方々の主催による記念行事も検討されております。これらの詳細につきましては、今後地元のご意向も踏まえたうえで、調整させていただくこととなります。

なお、殿居小学校と豊田中小学校との統合につきましては、スクールバスの運行や、学校物品の移転等の諸準備を進めているところであります。今後も両校の円滑な統合に向けて、取り組んでまいりたいと考えております。以上、簡単ではございますが、下関市立殿居小学校の閉校記念式典について、ご報告させていただきます。

波佐間清（教育長）

それでは、ご質問ご意見等がありましたらお願いをいたします。

林俊作（教育委員）

統合した時も4月1日に式典を行うのですか。

三好洋一（教育政策課長）

直近で申しまして、昨年度末をもって田耕小学校が閉校し、滝部小学校と今年度統合したわけですが、学校としての新たなスタートという意味合いでも、学校内での行事はございますけれど、対外的に人をお呼びしてやることは行っておりません。さらに、以前で豊田東中学校と西中学校、

この2校を統合した時は閉校式並びに開校式を行っております。今後の適正規模・適正配置基本計画の中では、豊田地区につきましては、西市小学校の学校位置に1つに統合という形で、なおかつ小中一貫教育の導入という統合モデルを示しております。こういった形で新たな学校を開校ということであれば、そういった行事も行うものというふうに考えております。

林俊作（教育委員）

この度はなしということで。

三好洋一（教育政策課長）

この度は今のところございません。

波佐間清（教育委員）

この閉校式のご案内は委員さん達にはありますか。

三好洋一（教育政策課長）

ご案内をさせていただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

波佐間清（教育長）

ご都合がつけば閉校式にもどうぞお越してください。他にございませんか。

（ありません）

波佐間清（教育長）

それでは、ないようでしたら本件につきましては報告済みといたします。

【報告事項】

平成27年度工事請負変更契約の締結について

波佐間清（教育長）

続きまして、「平成27年度工事請負変更契約の締結について」、学校支援課、お願いいたします。

石田朋彦（学校支援課長）

学校支援課です。よろしく願いいたします。それでは「平成27年度工事請負変更契約の締結について」ご報告いたします。資料等10ページをご覧くださいと思います。

2件とも工事の進捗に応じた設計変更1回目及び2回目に伴う契約額の増額変更でございます。豊浦小学校の校舎（27）耐震補強建築主体工事につきましては、基礎工事のため地盤を掘削したところ、地盤の形状が想定と異なっておりまして、基礎杭の施工方法の変更、杭の本数を増す必要が生じたこと、それによりましておよそ588万円、また、屋上防水改修工事、耐震改修工事ですので荷重を軽減するという目的がありまして、屋上防水工事のための防水コンクリートを撤去したのですが、そのコンクリートの厚さが想定よりも厚く、処分費用の増額およそ94万円、防水下地調整が不要となったことによる、こちらの方は減額ですが、およそ185万円などの設計変更を行うものです。平成27年11月25日に契約額を1億3,381万2千円税込ですけれども、496万8千円の増額変更を締結しました。このことに伴う工期の変更はございません。

誠意小学校の校舎（2）耐震補強及び外壁改修建築主体工事、こちらの2回目につきましては足場を設置し、外壁を詳細に調査したところ、改修が必要な外壁数量や工法が想定と異なっておりまして、設計変更を行うものでございます。平成27年12月4日に契約額1億4,886万9,360円税込、319万8,960円の増額変更を締結いたしました。このことに伴う工期の変更はございません。

各耐震補強改修工事においては、今後とも工事の進捗に応じ、適宜、設計変更が必要となつてまいります。その都度、報告をさせていただきたいと思っております。以上簡単ですが、平成27年度工事請負変更契約の締結工事についてご報告いたします。よろしくお願いいたします。

波佐間清（教育長）

ただいま、工事請負変更契約の報告がございました。何かご質問がありましたらお願いいたします。特にございませんか。よろしいですか。

（はい）

波佐間清（教育長）

特にないようでしたら、この報告については報告済みといたします。

【報告事項】

下関市社会教育振興大会の開催について

波佐間清（教育長）

続きまして、チラシになりますが、「下関市社会教育振興大会の開催について」、生涯学習課、お願いいたします。

永田聡（生涯学習課長補佐）

生涯学習課です。下関市社会教育振興大会の開催についてご報告させていただきます。別に配布させていただきました、このカラーチラシをご覧くださいと思います。

1月31日の日曜日に勝山公民館において、社会教育の推進とまちづくりのテーマで、下関市社会教育振興大会を開催いたします。本市は、下関市住民自治によるまちづくり推進計画が策定され、住民自治によるまちづくりを推進しております。今後、地域力の向上のためには生涯学習、社会教育の役割が従来にも増して重要になってきております。そのような中、市民、社会教育関係者が一同に会し、まちづくりやひとづくりに向けた生涯学習、教育活動の今後のあり方について考え、本市における社会教育の充実に資することを目的として開催するものでございます。

記念講演の天野かおり先生ですが、広島大学出身で、専門分野は成人教育、生涯学習、社会教育です。社会教育の分野でいう著名な広島経済大学の志々田まなみ教授の共同研究者としても知られております。

なお、委員の皆さまには、当日お席をご用意いたしますので、ご出席の際には事前にチラシの1番下にある記載の生涯学習課まで、1月29日金曜日までにご一報いただければ幸いです。以上、ご報告いたします。

波佐間清（教育長）

今、下関の社会教育振興大会についての説明がございました。何かご質問なり、ご意見がありましたらお願いいたします。なお、教育委員さんにも一応ご案内を差し上げると。ご都合がつけばということでもよろしいですかね。ご都合がつけば、ご連絡をいただければということでもあります。よろしゅうございますか。

（はい）

波佐間清（教育長）

それではご意見がないようですので、報告済みといたします。

【報告事項】

下関市青少年補導委員の解嘱及び委嘱について

波佐間清（教育長）

続きまして、「下関市青少年補導委員の解嘱及び委嘱について」、生涯学習課、お願いいたします。

永田聡（生涯学習課長補佐）

「下関市青少年補導委員の解嘱及び委嘱について」報告させていただきます。資料の10ページをご覧ください。

本市は問題青少年の早期発見・早期補導等の活動をするため、専門委員として下関市青少年補導委員を設置しております。このたび、補導委員交代の申し出がありましたので、11月30日付で、垢田校区補導委員の岡野安光委員を解嘱し、後任の委員として同じく垢田校区の下田学氏を12月1日付で委員として委嘱しました。任期は前任者の残任期間の平成29年5月31日までです。以上、ご報告いたします。

波佐間清（教育長）

ただ今、補導委員の説明がございましたが何かございますか。

藤井悦子（教育委員）

青少年補導委員は旧郡部にも設置されていますか。

永田聡（生涯学習課長補佐）

現在のところは設置しておりません。旧市内のみです。

藤井悦子（教育委員）

これは旧郡部には必要ないという見解ですか。

永田聡（生涯学習課長補佐）

合併の時からの流れで、当時は設置しないということでしたが、その件については、課題として検討していくところでございます。

藤井悦子（教育委員）

旧郡部で風紀が乱れているところがあるということを耳にしまして、補導委員の導入で解決できればと思っております。

波佐間清（教育長）

委員さんの方から、旧郡部の補導委員について、また検討をしっかりといただいて、必要であれば設置をしていただくというご要望がございます。他にございますか。

（ありません）

波佐間清（教育長）

ないようですので、報告済みといたします。

【報告事項】

重要文化財旧下関英国領事館の開館時間の変更について

波佐間清（教育長）

追加であります、「重要文化財旧下関英国領事館の開館時間の変更について」、文化財保護課、お願いいたします。

町田一仁（文化財保護課長）

文化財保護課です。「重要文化財旧下関英国領事館の開館時間の変更について」でございます。指定管理者であります、株式会社ブランドゥより、同館の開館時間の変更短縮についての承認依頼がありまして、これを承認いたしましたので報告いたします。

開館時間を変更した施設は、領事館の中の休憩室でございます。変更した日は平成28年1月1日、変更した時間は午前9時から午後5時までです。変更前は午前9時から午後10時までとなっていたところでありまして、承認いたしました理由は、実はこの日は1月1日から4日までは休館日でしたが、平成27年2月18日付で、お正月なので臨時開館したいということで申し入れがありまして、臨時開館を承認したところでございますが、この承認した日の1月1日につきましては昨年度も臨時開館した時の来館者の状況に鑑み、開館時間を短縮するものであります。1月1日を臨時に開館しましたが、元旦の夜はやはり、昼間は多いのですが、お客さんが全く来られないものですから、2階にレストランがあるのですが、そこを5時までにご案内させていただこうというものであります。よろしくお願いたします。

波佐間清（教育長）

報告がありましたが、何かご意見、ご質問はありませんか。

（ありません）

波佐間清（教育長）

ないようですので、報告済みといたします。

【報告事項】

平成28年度公民館等の臨時休館等について

波佐間清（教育長）

もう1件追加ですが、「平成28年度公民館等の臨時休館等について」、生涯学習課、お願いたします。

永田聡（生涯学習課長補佐）

平成28年度公民館等の臨時休館等について報告させていただきます。資料の13ページをご覧ください。

臨時休館及び開館時間を短縮する施設は1のとおり、市内公民館全34館、菊川ふれあい会館、生涯学習センター全2館、ふれあいセンター3館、滝部活動拠点施設、角島開発総合センターです。臨時休館とする日は、ゴールデンウィーク期間中の平成28年5月3日火曜日から、5日木曜日までの3日間、お盆期間中の8月13日土曜日、14日日曜日の2日間です。

次に3の開館時間の短縮について、平成28年度も27年度と同様に1年間を通じて利用状況に応じた運用を行うものでございます。資料の13ページから14ページにかけての(2)に開館時間の短縮の基準を記載しております。まず、午後6時から10時までの夜間枠の使用がない場合、平日は前日の午後5時までに夜間枠の使用申請がなければ、閉館時間を午後9時、12月1日から3月31日までは冬時間ということで午後8時としました。なお、日曜日については1週間前の日曜日の午後5時までに夜間枠の申請がない場合、閉館時間を午後5時としました。また、年間を通じて利用の少ない吉母・檜崎・室津の公民館・豊田・豊北教育支所管内の公民館、ふれあいセンター、滝部活動拠点施設、角島開発総合センターは前日の午後5時までに夜間枠の使用申請がない場合、閉館時間を午後5時としました。次に夜間枠の使用がある場合でも午後9時を超過し、すべての使用が終了した場合、その時点をもって閉館いたします。ただし、午後9時より前に夜間枠の使用がすべて終了した場合は午後9時、12月1日から3月31日は午後8時をもって閉館いたします。また、先ほどの年間を通しての利用の少ない施設については、夜間

枠の使用がすべて終了した時点で閉館いたします。このたびの臨時休館や、開館時間の短縮は利用状況に応じた運用を行うためであることのほか、光熱費の節減といった面をはかることも理由の1つでございます。以上、報告いたします。

波佐間清（教育長）

ただいま、公民館の臨時休館等の報告がございましたが、何かご意見ご質問がありましたらお願いをいたします。

（ありません）

波佐間清（教育長）

それではないようですので、報告済みといたします。

その他

波佐間清（教育長）

それでは、日程3にまいりたいと思います。日程3その他ですが、何かございましたらお願いをいたします。

野口裕子（教育委員）

今年4月からですが、まだ1年は経ってないですが、学校支援訪問に行かせていただきまして、まだ10校まではまだ伺ってはいませんが、大変、学校が落ち着いてきたというような印象を持っております。前回、学校訪問をさせていただいた時は、英語教育に特化して外国語活動の授業を拝見いたしましたけれども、今回は外国語のみならず、数学や国語、社会、理科など色々な教科についての授業を拝見させていただいております。特に中学生が大変落ち着いてきたという印象を持っております。学校のスペース、環境整備も非常に整って、教育の成果が表れてきているという思いを持つことができました。

それと、全くお話が今度は違いますけれども、私の所属する国際ソロプチミストについてですが、4年前に学校に対する支援をして、支援金を差し上げるという事業を開始いたしました。今年で4年目になります。5年間の事業ですが、4年目で小学校45校、中学校21校に支援金を差し上げることができました。1校につき5万円ですので、今までの金額を合計すると、300万円を超える形で支援することができて、大変学校の方からも感謝のお手紙をいただき、それが子供たちのために使われているということに対しまして、非常に嬉しく思っております。あと1年間残っていますが、この件に関しましては、澄川室長さんには事務的などところでご協力をいただきまして、大変ありがとうございました。お礼を申し上げます。また、今年は贈呈式が行われますので、また、教育長さんにもおいでいただいてということをお願いしておりますので、何卒よろしく願いいたします。

後は、11月の終りに教育委員として行ったのではなく、個人的に行ったのですが、東京で全国英語教育者会議というのが行われまして、それに参加をさせていただいて、日本全国の英語の先生方がどういうふうな気持ちで教育を行っているかというような会議に参加をしてみたいです。下関に戻って、もっと頑張っていかなければならないなという気持ちがあります。また何かの機会に学校の先生方に伝えて、是非、下関の英語教育の底上げをしていく力添えになればなという気持ちで色々学んでまいりました。以上です。ありがとうございました。

波佐間清（教育長）

ありがとうございました。今、学校訪問のこと、ソロプチミストのこと、この12月25日の日に贈呈式があるということでございます。またよろしく願いをしたいと思っております。他に、その他の件でご報告等がありましたら、よろしいですか。

(はい)

波佐間清（教育長）

それでは、ないようですので、次回の日程であります。1月の教育委員会定例会は1月28日木曜日午前、今のところ9時30分から、いつもは10時からやっておりますが、この日は議会の方の文教委員会の視察が1時からあるという予定がありますので、一応、30分繰り上げて、9時30分から開始をしたいということでお願いをしたいと思います。議案が少なければ、10時になるかもわかりませんが、一応9時30分の予定をしておいていただければと思います。この当会議室において開催の予定でありますので、委員の皆さん、よろしいでしょうか。

(はい)

【閉会の宣告】

波佐間清（教育長）

それでは、本日の議事すべてを終了いたしました。これで定例会を終了いたします。お疲れでございました。

(ありがとうございました)

署名

教育長

署名委員

署名委員

作成職員